

奥様の切実な思いを受け、ご主人の「笑顔と会話をもう一度！」

こんな笑顔が見たかった！

大型船を所有し、船に寝泊まりしながら自動車関連の運搬業を営んでいたT・M様は、行動的で親方肌の性格でした。社員に悩みがあれば相談にのり、社員に良いことがあれば一緒に喜んで喜ぶ方でした。その人柄から皆に慕われ家族自慢のお父様でした。しかし、銭湯で後方に転倒し頭部を打ち、てんかん発作と高次脳機能障害を患い、会話することや歩くことなど日常生活動作が難しくなりました。奥様や長男ご夫婦の介護により自宅にて療養されていましたが、症状が改善されることもなく、T・M様、ご家族ともにつらい日々を送られていました。

奥様は、以前のように少しでも元気になってもらいたい、日常生活でできることを増やしていきたいと施術をご希望されました。施術は、マッサージと運動法を中心に、てんかん発作に配慮しながら行われました。施術師の訪問により、できることがひとつずつ増えていくと、T・M様は、笑顔が増え、意欲的に運動法にも取り組まれました。その結果、5カ月で伝い歩きができるようになり、笑顔や会話も増えました。「笑顔が増えたことが本当に嬉しいです」という奥様の感想に感激し、更にご利用者、奥様の笑顔が増えるようまごころ込めて取り組んでまいります。

会話と運動法で身体能力・コミュニケーション能力向上へ



広島営業所
立地地域相談員

今回のケースは、奥様ご家族の熱い思いに込め、全介助状態のご利用者が、日常生活において自立可となる項目を増やし、会話が増えた経緯に焦点を当てた事例です。



初期浮腫の状態



関節運動テクニック

【初期目標】
 ・膝部く足部にかけての浮腫軽減、右肩部の疼痛の減弱あるいは消失。

【中期目標】
 ・日常生活動作の自立の確保。
 ↓四肢・体幹部の筋力向上。

【長期目標】
 ・日常生活動作の自立の確保
 ↓立位の安定化、歩行時間の増大

【施術内容】
 ・関節リラクゼーション
 ・運動法
 ・各関節、各運動方向へ曲げ伸ばし、
 エロノア介助自動運動、
 体位変換ロニー介助自動運動他
 ・マッサージ

求心性のマッサージ、ストレッチング他
 ＊痙攣発作を配慮し身体状況に応じて施術量・内容を調整



支持なしでの単独立位が可能に



歩行練習

ご利用者情報

ご利用者 T・M様 64歳・男性
 傷病名 ①脳挫傷（H24年2月）

頭部外傷後遺症による四肢
 体幹機能障害
 ②症候性てんかん

現在の施術は四肢・体幹部の筋力向上に繋げていく為の関節運りラクゼーション、運動法、マッサージ療法を行っています。今後は、立位の安定化、歩行時間の増大を目標に御本人の

意欲向上と共に



谷口 施術師

増やし歩行時間・距離の増大を図ってまいります。

ご家族の声

日常生活の動作において、身体全体に対して筋力もつき、立位も以前に比べ安定してきて、室内において歩く時間や回数も増え満足しています。サービス開始時（H25年6月頃）は約2ヶ月に1度のペースで痙攣発作が起きていましたが、それ以降は起きていません。少なからずサービス利用により良い刺激となっているのではないかと感じています。笑顔が増えた事が本当に嬉しいです。

ケアマネジャー様の声

サービス開始時は無表情でしたが、現在は担当施術師の前ではニコニコと笑顔を出して、奥様や私には笑顔を見せない等表情の使い分けが出来るようになっていたのが驚いています。